

教科	国語	単元名	絵を見て語り合おう
----	----	-----	-----------

本時のねらい

文章を読み、本文中の絵に対する意見や感想を共有し、他者の意見や感想の違いを比較し、自分の考えをまとめる。

本時における1人1台端末の活用方法とそのねらい

「ムーブノート」を使うことにより、自分の考えをみんなにより手軽に伝えることができ、併せて自分の考えと同じような考えや、なるほどと思う考え、違う考え等、他者の意見と比較することができる。さらに拍手機能やコメント機能の活用により意見交換がスムーズにできる。

活用したICT機器・デジタル教材・コンテンツ等

- ・ クロームブック ・ ミライシードのムーブノート ・ クロームキャスト
- ・ 電子黒板

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT活用のポイント・工夫
導入 (5分)	フリードルとテレジンの時代背景について確認し、過酷な状況の中書かれた絵であることを確認する。そして、自分なら、どのような絵になるか考える。	児童の理解を深めるために、フリードルとテレジンの過酷な時代背景について電子黒板に表示し、視覚支援を行うとともに、その時代をイメージしやすくする。
展開 (30分)	<ul style="list-style-type: none"> ・フリードルとテレジンの絵から自分が感じ取れること（時代背景を理解しながら、絵のどこの部分に着目したかや、印象に残ったことを、ムーブノートを使って理由とともに書く。 ・「ひろば」に提出し、みんなの考えを共有する。 友だちの考えを読んだ後に、共感には拍手やコメントを入れて、交流をする。 ・友だちの考えと比較して、自分の考えを発表する。	ムーブノートのノート機能に、自分の考えの中でより強調したい部分の字の色や太さを変えて入力することで、相手に自分の考えを伝わりやすくする。 ・「ひろば」に提出した自分の考えに対するコメントを読み、他の人の考えを知ることによって他人の考えと比較し、自分の考えを再度見直し、まとめる。
まとめ (10分)	<ul style="list-style-type: none"> ・ふりかえり 他者の発表を聞いて自分の考えがどのように深まったか書く。	

1人1台端末を活用した活動の様子



写真1：自分の考えをより伝わりやすくするために、色や太さを変える工夫をしている画面



写真2：共感できた友だちの意見にコメントや拍手を入れている場面



写真3：電子黒板に映し出された友だちの考えと比較して、自分の考えを発表する場面

児童の反応や変容

・ムーブノートに感想を書き込むことで、これまで以上に自分の感じたことを表現しようという意欲が見られた。また、特に注目してもらいたい箇所の文字を青や赤にするなど、相手に伝える為の工夫をすることができた。ムーブノートを使うことで、他の人の考えと、自分の考えとの相違に着目し、自分の考えをまとめる姿も見られた。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

絵の描かれた時代背景を、当時の写真を提示しながら説明することにより、より深く絵を鑑賞し自分の考えを書くことができた。ムーブノートを使うことで、クラス全員の考えを容易に見ることができ、他者の考えと自分の考えを比較しながら、自分の考えを深め、まとめることができた。